

@nifty セキュア プライバシー

旧@nifty パスワードマネージャー

インストールマニュアル



@nifty 

この度は、@nifty セキュア@プライバシーにお申し込みいただき、ありがとうございます。



目次

@nifty セキュア@プライバシー

1	Windowsパソコンへのインストール	P.2
2	Macへのインストール	P.4
3	Android 端末へのインストール	P.5
4	iPhone/iPadへのインストール	P.6
5-1	2台目以降のインストール(ご自身の端末にインストール)	P.7
5-2	2台目以降のインストール(ご家族の端末にインストール)	P.8
6	リカバリコードの作成	P.9
7	マスターパスワードの回復方法	P.10
8	モニタリング機能(個人情報流出監視機能)の設定	P.11
9	Windowsパソコンで、パスワードの自動入力機能を利用する	P.12

1 Windowsパソコンへのインストール

1

アカウント発行の案内(登録いただいたメール宛)にある「@nifty パスワードマネージャー インストール」をクリックしてください。



2

インストール画面が表示されますので「Windows PC ダウンロード」をクリックして、ダウンロードが完了後、msi インストールパッケージファイルを実行してください。



3

セットアップ画面が表示されますので「同意して続く」をクリックしてください。



4

「はじめに」をクリックしてください。



5

アカウント発行の案内からインストールするとログインが省略されます。ログイン表示された場合は、アカウント発行の案内に記載されているメールアドレスと仮パスワードを入力します。既にパスワードを変更されている場合は変更後のパスワードをご入力ください。



6

インストールするデバイスの名前を指定します。(ユーザ管理ポータルでライセンスを管理する際に表示されるデバイスの名前になります。)



7

初めてご利用の方は、「左のマスターパスワードを作成」を選択してください。



8

マスターパスワードを設定し、「マスターパスワードを作成」をクリックします。

※マスターパスワードは、2種類以上の文字種を使用し、11文字以上で設定してください。(英大文字A~Z、英小文字a~z、数字0~9、記号! " # など)
ただし、良く使われる文字列(例:Password12345など)は弱いものとして扱われます。



最後にリカバリコードを保存してインストールを完了します。



お客様以外の他人がマスターパスワードを復元または再設定することはできません。マスターパスワードを忘れた場合に備え、マスターパスワードを回復するためのリカバリコードを保存してください。

9

リカバリコードイメージを保存するフォルダを選択し、「保存」をクリックします。保存した画像がリカバリコードになりますので、大切に保管ください。



10

インストールは完了です。



2

Macへのインストール

1

アカウント発行の案内(登録いただいたメール宛)にある「@nifty パスワードマネージャー インストール」をクリックしてください。



2

インストール画面が表示されますので、「Mac ダウンロード」をクリックして、dmgファイル(passwordmanager.dmg)をダウンロードします。アプリケーションアイコンとインストールフォルダが表示されます。



3

インストールフォルダの上に、アプリケーションアイコンをドラッグすると(他のOS Xソフトウェアと同様の操作)、インストールを開始します。ポップアップが出た場合は、「開く」をクリックしてください。



4

ソフトが起動するので、言語選択で「日本語」を選択し、「Password Manager を使用し始める」をクリックしてください。

5

アカウント発行の案内からインストールするとログインが省略されます。ログイン画面が表示された場合はアカウント発行の案内に記載されているメールアドレスと仮パスワードを入力します。

※既にパスワードを変更されている場合は変更後のパスワードをご入力ください。

6

インストールするデバイスの名前を指定します。(ユーザ管理ポータルでライセンスを管理する際に表示されるデバイスの名前になります。)



7

「マスターパスワードを作成」をクリックし、マスターパスワードを設定します。

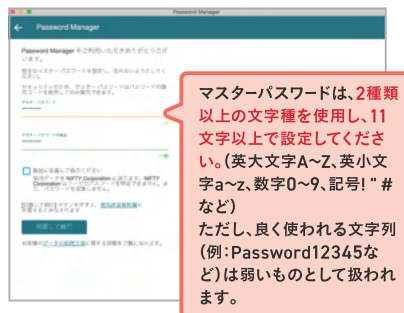
※マスターパスワードは、アプリへのアクセスを許可し、すべてのパスワードデータを保護するため、非常に重要です。

8

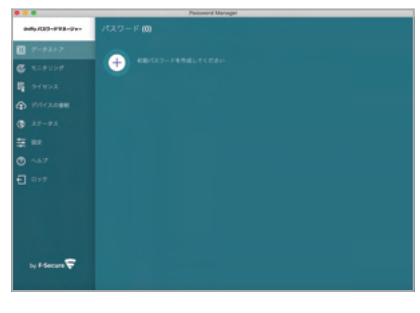
「マスターパスワード」にパスワードを入力し、「マスターパスワード(確認)」にもう一度入力し、「同意して続行」をクリックします。

9

インストールは完了です。



マスターパスワードは、2種類以上の文字種を使用し、11文字以上で設定してください。(英大文字A~Z、英小文字a~z、数字0~9、記号!"#など)
ただし、良く使われる文字列(例:Password12345など)は弱いものとして扱われます。



1

アカウント発行の案内(登録いただいたメール宛またはSMS)にある「@niftyパスワードマネージャー インストール」をタップしてください。



2

Google Play が起動したら「インストール」をタップし、完了したら「開く」をタップしてください。@niftyパスワードマネージャーが起動したら「同意して実行」をタップしてください。



3

アカウント発行の案内からインストールすると、ログインが省略されます。ログイン表示された場合は、アカウント発行の案内に記載されているメールアドレスと仮パスワードを入力し新しいパスワードを設定します。既にパスワードを変更されている場合は変更後のパスワードをご入力ください。



4

デバイスの名前を設定します。



5

「パスワードマネージャーを初めて使います。」を選択してください。



6

「マスターパスワードを作成」をタップし、新しいマスターパスワードを設定します。



7

インストールは完了です。



マスターパスワードが、「弱い」、「普通」の場合に表示されます。安全なマスターパスワードを設定した場合は表示されません。

マスターパスワードが安全ではありません。より安全なパスワードに設定することを推奨します。

セキュリティを強化するためにより安全なパスワードを設定してください。

- ・小文字と大文字を含みます
- ・数字(123) および特殊文字(.!:)を含みます
- ・一般的な単語を避けます
- ・パスワードの文字数を長く設定します

新しいパスワードを設定

このパスワードを使用する

マスターパスワードは、2種類以上の文字種を使用し、11文字以上で設定してください。(英大文字A~Z、英小文字a~z、数字0~9、記号!"# など) ただし、良く使われる文字列(例:Password12345など)は弱いものとして扱われます。

4 iPhone/iPad へのインストール

1

アカウント発行の案内(登録いただいたメール宛またはSMS)にある「@niftyパスワードマネージャー インストール」をタップしてください。



2

App Storeが起動したら、「インストール/入手」をタップし、完了したら「開く」をタップしてください。@niftyパスワードマネージャーが起動したら「同意して実行」をタップしてください。



3

アカウント発行の案内からインストールすると、ログインが省略されます。ログイン表示された場合は、アカウント発行の案内に記載されているメールアドレスと仮パスワードを入力し新しいパスワードを設定します。既にパスワードを変更されている場合は変更後のパスワードをご入力ください。

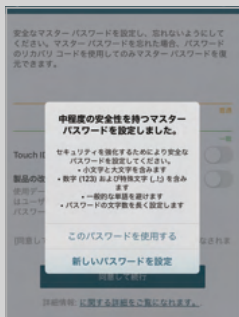


4

デバイスの名前を設定します。



マスターパスワードが、「弱い」、「普通」の場合に表示されます。安全なマスターパスワードを設定した場合は表示されません。



マスターパスワードは、2種類以上の文字種を使用し、11文字以上で設定してください。(英大文字A~Z、英小文字a~z、数字0~9、記号! " # など)ただし、良く使われる文字列(例:Password12345など)は弱いものとして扱われます。

5

「パスワードマネージャーを初めて使います。」を選択して、新しいマスターパスワードを設定します。



6

インストールは完了です。



1

ユーザー管理ポータルへアクセスしてください。



URL nif.life/f030

2

ログインページが表示されます。アカウント発行の案内に記載されているメールアドレスと仮パスワードを入力します。

※既にパスワードを変更されている場合は変更後のパスワードをご入力ください。



3

メニューから「パスワードマネージャー」をクリックして、パスワードマネージャーのページを表示します。

▼デスクトップ版



▼モバイル版



4

「パスワードマネージャーをインストール」をクリックしてください。

▼デスクトップ版



▼モバイル版



5

「自分のデバイス」を選択して、「続行」をクリックしてください。



6

インストールしたいデバイス選択して、「続行」をクリックしてください。



7

「このデバイス」以外(別のデバイス)を選択した場合、インストールのご案内メールを送信します。利用したいデバイスにて受信可能な「メールアドレス」を入力し、「送信」をクリックしてください。

▼メールで送る場合



▼SMSで送る場合



8

送信済みの画面が表示されます。



インストールする端末で、メールまたはSMSを開きインストールを進めてください。

インストールのメールまたはSMSが届きますので、「パスワードマネージャーをインストール」をクリックしてクライアントソフトをインストールしてください。SMSの場合は、メッセージにURLが記載されていますので、そちらをクリックしてインストールしてください。



5-2 2台目以降のインストール(ご家族の端末にインストール)

1

ユーザー管理ポータルへアクセスしてください。



URL nif.life/f030

2

ログインページが表示されます。アカウント発行の案内に記載されているメールアドレスと仮パスワードを入力します。

※既にパスワードを変更されている場合は変更後のパスワードをご入力ください。



3

メニューから「パスワードマネージャー」をクリックして、パスワードマネージャーのページを表示します。



4

「パスワードマネージャーをインストール」をクリックしてください。



5

「別のユーザのデバイス」を選択して、「続行」をクリックしてください。



6

別のデバイスを選択した場合、招待したいユーザの「名前(名)」、「名前(姓)」、「メールアドレス」を入力し、「招待状を送る」をクリックしてください。



7

入力したメールアドレス宛に招待メールが送信されますので、「閉じる」をクリックしてください。



インストールする端末で、メールまたはSMSを開きインストールを進めてください。

インストールのメールまたはSMSが届きますので、「パスワードマネージャーをインストール」をクリックしてクライアントソフトをインストールしてください。



6

リカバリコードの作成

お客様以外の他人がマスターパスワードを復元または再設定することはできません。
 マスターパスワードを忘れた場合に備え、マスターパスワードを回復するためのリカバリコードの作成することを推奨します。

WindowsパソコンまたはMac

1

「設定」→「リカバリコードを作成」をクリックします。



2

リカバリコードイメージを保存するフォルダを選択し、「保存」をクリックします。
 保存した画像がリカバリコードになりますので、大切に保管ください。



3

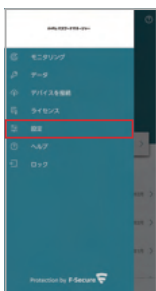
マスターパスワードを入力して「OK」をクリックします。



Android端末/iPhone/iPad

1

「設定」をタップします。



2

「リカバリコードを作成」をタップしてください。



3

マスターパスワードを入力して「確定」をタップします。



4

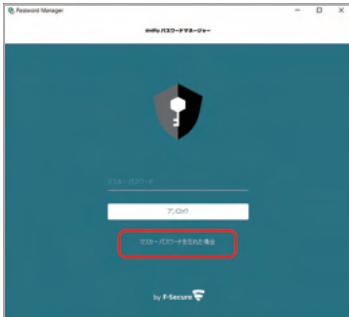
「画像として保存」をタップします。
 保存した画像がリカバリコードになりますので、大切に保管ください。



WindowsパソコンまたはMac

1

ログイン画面で「マスターパスワードを忘れた場合」をクリックします。



2

「画像をインポート」をクリックし、保存した画像を選択してください。



3

設定したマスターパスワードが表示されます。



Android端末/iPhone/iPad

1

ログイン画面で「マスターパスワードを忘れた場合」をタップします。



2

「画像をインポート」をクリックし、保存したコードの画像を選択するか、「リカバリコードをスキャン」を選択し保存したコード画像を印刷したものをスマホから読み取ってください。



3

設定したマスターパスワードが表示されます。



マスターパスワードの回復方法

マスターパスワードの回復方法は、@nifty パスワードマネージャーの以下のページをご覧ください。

URL

nif.life/f115



8 モニタリング機能(個人情報流出監視機能)の設定

モニタリング機能(個人情報流出監視機能)

お客様のメールアドレスをキーに、メールアドレスに関連付けられた、パスワード情報、クレジットカード番号、名前、住所、電話番号、生年月日の流出を監視します。流出を検知した場合、最初に登録した連絡先メールアドレスとアプリ上に通知が送られます。登録できるメールアドレスは、連絡先メールアドレスを含め最大5つです。

WindowsパソコンまたはMac

1

「モニタリング」を選択してください。ブラウザが起動し、ログインページが表示されます。アカウント発行の案内に記載されているメールアドレスと仮パスワードを入力します。

※既にパスワードを変更されている場合は変更後のパスワードをご入力ください。



2

「監視対象アイテムを追加」を選択してください。



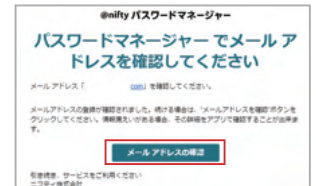
3

モニタリングのキーになるメールアドレスを入力してください。入力後、追加を選択してください。最初に入力したメールアドレスが連絡先メールアドレスになります。流出を検知すると、このメールアドレスにメールが送られます。モニタリングは自動的にリアルタイムに行われ、特に追加の操作は不要です。



4

登録したメールアドレスに対して確認のメールが送信されます。確認メールに記載の「メールアドレスの確認」をタップしてください。モニタリング結果が表示され、設定は完了となります。



Android端末/iPhone/iPad

1

「モニタリング」をタップしてください。



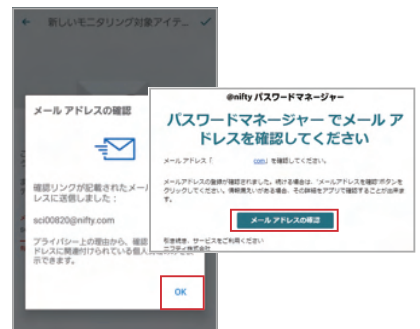
2

モニタリングのキーになるメールアドレスを入力してください。入力後、追加を選択してください。最初に入力したメールアドレスが連絡先メールアドレスになります。流出を検知すると、このメールアドレスにメールが送られます。モニタリングは自動的にリアルタイムに行われ、特に追加の操作は不要です。



3

登録したメールアドレスに対して確認のメールが送信されます。確認メールに記載の「メールアドレスの確認」をタップしてください。モニタリング結果が表示され、設定は完了となります。



本機能は、ChromeブラウザとChromiumベースのMicrosoft Edge、Firefoxブラウザで利用できます。

Chromeブラウザ、ChromiumベースのMicrosoft Edgeの設定

1

「設定」→「一般」をクリックし、オートフィルのプルダウンメニューで、「ブラウザのオートフィルを有効にする」を選択し、「Chromeの拡張機能をインストール」ボタンをクリックします。



2

「ブラウザの拡張機能を手入する」をクリックしてください。



3

「Chromeに追加」をクリックして拡張機能を追加してください。



4

拡張機能のインストールが完了すると、URL入力欄の横にアイコンが表示されるのでクリックします。



5

パスワードマネージャの「設定」→「一般」をクリックし、オートフィルにある認証コードをコピーして、4のフォームに貼り付け、「承認」ボタンを押して閉じてください。



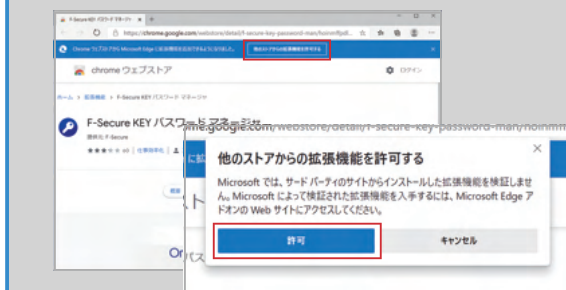
6

ログインのフォームに表示されるアイコンをクリックすると、オートフィルを行うプルダウンメニューが表示されますので、該当のパスワードを選択いただければ自動的にID/パスワードが入力され、ログインが行われます。



ChromiumベースのMicrosoft Edgeで、Chromeの拡張機能が利用できます。

Chromiumベースの新しいMicrosoft Edgeをご利用の方は、「他のストアからの拡張機能を許可する」をクリックし、許可するを選んでください。



Firefoxの設定

Firefoxで自動入力機能を利用する場合は、「Firefoxのアドオンをインストール」を選択して、Firefoxに拡張機能を追加してください。



WindowsパソコンまたはMacの場合

パスワードの登録方法

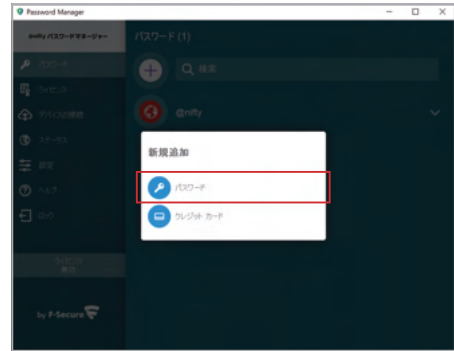
1

パスワードマネージャーのメニューから「リスト」を選び、プラスボタンをクリックします。



2

パスワードを選択します。



3

以下を入力します。

新規追加

タイトル

ユーザ名

パスワード

Web アドレス

コメント

追加 キャンセル

ログインするためのアカウント名またはIDを入力します。

パスワードを入力します。
すでにパスワードを設定済みの場合は、設定しているパスワードを入力してください。

ログイン(認証)ページのURLを入力してください。

オートフィルを使用するには、クライアントソフトがアンロックされている必要があります。
ロックされている場合、まずクライアントソフトにマスターパスワードを入力しロックを解除する必要があります。
オートフィルのプルダウンメニューにパスワードが正しく表示されるためには、ID/パスワードの登録時のURLの情報を正しく入力する必要があります。

Macでパスワードの自動入力機能を利用する方法

Macでパスワードの自動入力機能を利用する場合は、@nifty パスワードマネージャーの以下のページをご覧ください。

URL	nif.life/f033
-----	---------------



パスワードの登録方法

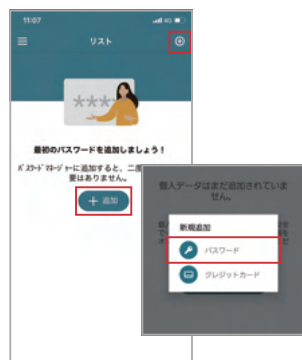
1

メニューまたはタブから「リスト」を選択します。



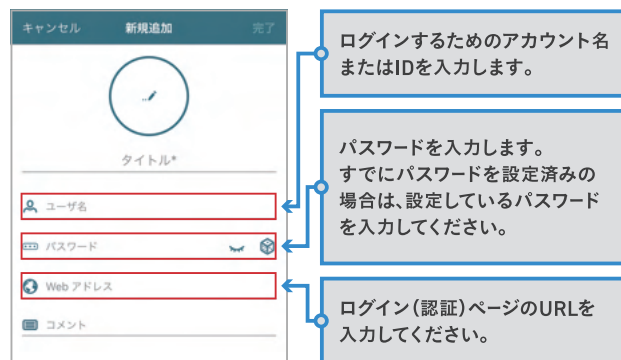
2

「追加」または「+」ボタンをタップして、パスワードを選択します。



3

以下を入力し、登録を完了すると認証画面で自動入力(オートフィル)機能を利用できます。



ログインするためのアカウント名またはIDを入力します。

パスワードを入力します。すでにパスワードを設定済みの場合は、設定しているパスワードを入力してください。

ログイン(認証)ページのURLを入力してください。

パスワードの自動入力機能を利用する方法

Androidの設定

Android Pie(9.0)以降で自動入力が可能です。

事前に、@niftyパスワードマネージャーのアプリで、自動入力(オートフィル)機能をONにする必要があります。

1 @niftyパスワードマネージャーを起動し、「メニュー ▶ 設定」からオートフィルを開きます。

2 オートフィル機能をONにします。

3 Androidの「自動入力サービス」画面が開いたら、@niftyパスワードマネージャーを選択し、信頼するアプリに設定してください。

※Androidのバージョンや機種によって画面の構成や名称が異なることがあります。

iOSの設定

iOS12以降で自動入力が可能です。

事前に、iOSの設定から自動入力(オートフィル)を有効にしておく必要があります。

1 iOSの[設定]を開きます。

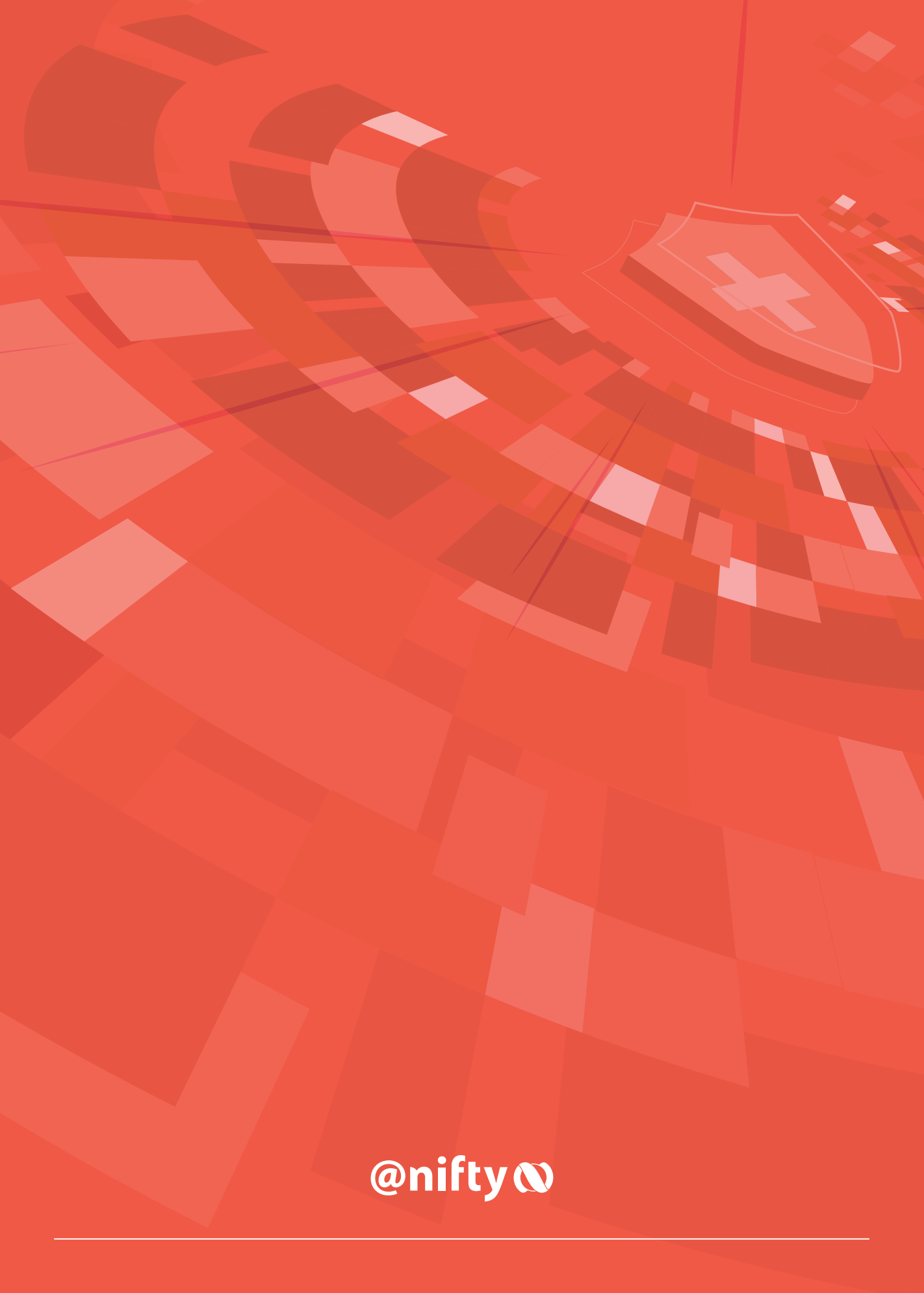
2 [パスワードとアカウント]をタップします。

3 [パスワードを自動入力]をタップします。

4 [パスワードを自動入力]を有効にします。

5 [パスワードマネージャー]を選択します。

- IOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Google PlayとAndroidはGoogle Inc.の商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標または登録商標です。
- 製品名、サービス名などは一般に各社の商標または登録商標です。
- 本書に記載されている内容は 2021年6月現在のもので、予告なく変更されることがあります。
- 本書を無断で他に転載・複写することを禁じます。



@nifty 
